



當眞 嗣春 議員

重点支援交付金 進捗と成果は

答 交付金を活用した5事業を行う



問 5つの事業の現時点における進捗状況と成果について問う。

副町長 物価高騰生活者支援事業は1億195万4000円、88%で、3万5433人が商品券の引換えを行った。学校給食費支援事業は2817万1000円、43.8%で、幼児、児童生徒3063人に対し学校給食費の免除を行っている。保育所等給食費支援事業は520万9000円、65.6%で、15保育施設へ補助等を行っている。粗飼料価格高騰対策臨時支援事業は11万5000円、2.6%で、1農家へ補助を行っている。農業用資材等臨時支援事業は14万3000円、4.6%で、103農家へ補助を行っている。

問 農業用資材等臨時支援事業、4.6%で額としても14万3000円だが、これも非常に

少ない。その理由を問う。

産業振興課長 作物、作付時期等によって、これまでも10月以降に対象肥料を購入する農家が多く、購入が集中している。

本町内における自衛隊のイベントを問う

問 去る8月16日、南風原イオンで開催されたイベント、自衛隊チャレンジについて町長の見解を問う。

副町長 子どもたちを対象にした自衛隊の仕事体験イベントであると認識をしている。

問 自衛隊、これがもし軍隊の仕事、軍隊の仕事を紹介するイベントであるといったときに、どのようにこれを解釈するのか。

町長 自衛隊は自衛隊だと思っている。

学校給食の現状は

問 今年7月の報道によると、国の摂取基準のエネルギーを満たしている中学校はゼロ。本町の現状はどうか。



提供されている学校給食

教育長 当該記事は、提供した給食の総量から、食べ残し分を除いた後、児童生徒数で割って平均したエネルギー数値となっており、本町の現状としては去る3月議会の答弁のとおり、学校給食摂取基準を満たしている。